

岩瀬高校だより

令和6年3月号

県立岩瀬高等学校「令和5年度卒業証書授与式」を挙行了しました。



▲卒業生入場

3年ぶりの在校生が参加した卒業式、盛大な拍手に迎えられ入場しました。



▲卒業証書授与

担任が卒業生の名前を点呼し、各クラスの代表者が卒業証書を受け取りました。



▲在校生送辞

生徒代表として、現生徒会長が卒業生に送別の言葉を送りました。

令和6年3月9日（土）本校体育館で岩瀬高等学校「令和5年度卒業証書授与式」を実施しました。当日は、暖かく晴天に恵まれた、感動的な素晴らしい卒業式を行うことができました。

今年度も生徒会役員が中心となって作成した動画を体育館で保護者の方々にご覧いただきました。

3年生105名と専攻科32名が担任から呼名され、学校長から卒業証書が授与された後、学校長から式辞をいただきました。

在校生からはこれからの岩瀬高校を担う生徒代表として素晴らしい送別の言葉がありました。

卒業生代表2名は、答辞の中でそれぞれの高校生活への思いや友人・保護者への感謝の言葉をつづり、その心のこもった言葉に大きな感動を覚えました。

卒業生からのバトンをしっかり受け取った在校生が、岩瀬高校で「自分の中の力」を伸ばしていきます。



▲卒業生答辞

それぞれの学校生活への思いをつづった感動的な答辞でした。



▲卒業生退場

担任の先導でクラスごとに退場しました。涙を流す卒業生もいました。

岩瀬高校だより

令和6年3月号

県立岩瀬高等学校「令和5年度修了式」を実施しました。



▲体育館に生徒たちが集まりました。



▲校長先生のお話を生徒たちは真剣に聞いていました。



▲生徒支援部長から春休みの生活についての注意がありました。

令和6年3月22日(金)、令和5年度修了式が行われました。卒業した3年生を除く生徒たちが体育館に集まり、1年のしめくりとなる修了式に参加しました。

はじめに表彰式がありました。1ヵ年皆勤の生徒と善行賞の生徒が表彰されました。

次に校長先生のお話がありました。校長先生は「半年以上前に伸ばさせてほしい力について話しました。一つ目が自己管理能力、二つ目が自己指導力です。2学期・3学期での様々な活動から、皆さんしっかり自己管理や自己指導ができていたのだと推察できます。今日は、そんな皆さんに、もう一つ身に着けてほしい力について話したいと思います。それは「レジリエンス」です。「レジリエンス」はもともと本来の位置からのずれに対し、元に戻ろうとする力を意味する用語として、物理学で使われていたものです。現在では「望ましくない状況をはねのける力」や「しなやかさを兼ねた強さ」あたりが意味として当てはまります。たとえピンチに陥ったとしても、その状況を打開し、良い方向に向かっていくそんな強さです。これらを養うための仕掛けは、学校の中に小石をちりばめたように用意されており、しっかりとした学校活動の中で脈々と養われるものですが、それ以外のしっかりとした日常の活動の中でも身に着けていくものなので、ぜひ、明日からの春休み、この「しっかりとした」を意識した生活をしてください。」とお話しされ、生徒は真剣に聞いていました。

最後に生徒支援部長の先生から、春休みの生活上の注意がありました。

これで令和5年度の岩瀬高校の行事がすべて終了しました。この1年は生徒の皆さんにとってどのような1年だったでしょうか。高校生活は長いようで短く、あっという間に終わってしまいます。友人たちと楽しく学校生活を送るのはもちろん、高校卒業後の自分の進路についても深く考え、目標をもって生活してください。4月からまた新しい生活が始まります。来年度も生徒の皆さんにとって良い1年になるよう、教職員も一丸となって支援していきます。